

## 福祉パレット



## 「向日市地域包括支援センター」の新設

高齢者の暮らしを地域ぐるみで支ええるしくみです。

## 向日市地域包括支援センター

「地域包括ケア」は、高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう目指すものです。

できる限り要介護状態にならないように予防し、要介護状態になっても、必要なサービスが切れ目なく提供される体制づくりが必要です。

## 地域包括支援センターとは

市町村が運営主体となって、公平・中立の立場から地域における総合的・包括的なマネジメントを担います。

地域包括支援センターは、地域包括ケアを支える中核機関として新設されます。

① 総合相談支援

② 包括的・  
継続的ケア  
マネジメント  
支援③ 介護予防  
ケアマネジメント

④ 権利擁護

# 住み慣れたこの向日市で、 誰もが安心して子育てを…！

## 向日市社協がお手伝いしています！

共催：国際ソロプチミスト京都-西山・向日市子育てセンター「すこやか」

### 子育て支援講座

<第1回>

平成17年9月開催

講演・実技演習

「子どもを守る心肺蘇生法～  
いざという時のために～」

<第2回>

平成17年11月開催

講演「子どもの事故と予防」

<第3回>

平成17年12月開催

講演・実技演習

「いざという時の事故に備えて～心肺蘇生法を学ぶ～」

<第4回>

平成18年3月開催

講演「子育てにおける心のケア」



保育ルームを開設しているから  
お母さんも安心！

「社協」と聞くと、「高齢者や障害者の方を対象にした事業を開催しているところ」と思われている方、多くありませんか？  
もちろん高齢者や障害者の方を対象にした事業も開催していますが、向日市社協では、平成16年度から本格的に『子育て支援事業』への取り組みを開始し、平成17年度においても様々な『子育て支援事業』を展開しましたので、ご紹介します！

### 向日市まつり「みんなで子育てMUKO」

平成17年11月開催

### 子育てのつどい「みんなで子育てMUKO」

平成18年3月開催



親子で一緒に楽しく遊ぼう！

向日市社協では、平成18年度においても様々な『子育て支援事業』を展開する予定をしています。

住み慣れたこの向日市で、誰もが安心して子育てができるように、一緒に考えてみませんか？まずは、『子育て支援事業』にお気軽にご参加下さい！

〈お問い合わせ先〉 向日市社協 地域福祉係 (TEL: 932-1961)

障害者自立支援法の施行について

# 障害者福祉サービスが

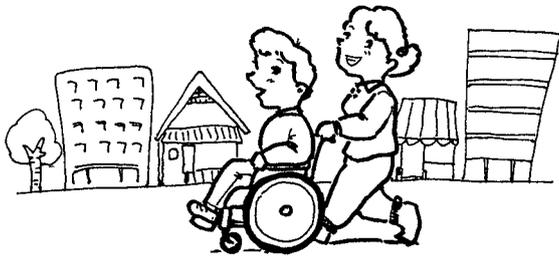
# 変わります

「障害者自立支援法」が平成18年4月に施行され、現行のサービス体系（平成18年10月から）、利用者負担の仕組み（平成18年4月から）、利用者の手続等が大きく変わります。

社協ヘルプセンターでは障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現をめざして、左記のようなサービスを提供しています。どうぞ、いつでもご利用ください。

## 現行の支援費制度によるサービスの一例を紹介します

身体障害で、お一人暮らしの方です。昼間、授産施設に通所され、帰宅後、週3日ヘルパーが訪問しています。ヘルパーは調理、買物、掃除機かけ、洗濯物干し等の援助をしています。利用者さんも拭き掃除、洗濯機回し、軽い物の買物をされます。日々、ヘルパーはコミュニケーションを大切にし、利用者さんの思いを汲み取りながら訪問しています。



▼事業実施地域 向日市

▼利用時間 年365日

午前7時～午後10時

▼受付窓口時間

平日午前8時30分～

午後5時

（お問い合わせ）

社協ヘルプセンター

TEL：932-1968

## 福祉サービス利用援助事業のご案内

### 住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために

認知症や知的障害、精神障害のある方を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために必要な福祉サービスの利用をお手伝いしています。

お手伝いしている内容は、福祉サービスに関する情報提供や助言、利用手続きや日常的な金銭管理等です。

事業の内容や利用方法、利用料金等の詳細については、お気軽に向日市社協地域福祉係までお問い合わせ下さい。

また、向日市社協では、この事業に携わっていただく生活支援員（アルバ

イト職員）を募集しています。

活動時間は、1回につき1～2時間程度で、週1回から月1回程度の活動頻度となります。

時間給は800円で、別に事務費の支給があります。

生活支援員の活動に関心のある方は、事前に電話にて連絡していただき、市販の履歴書に写真を貼付して、必要事項を記入の上、向日市社協地域福祉係までお越し下さい。



お問い合わせ先

向日市社協 地域福祉係(TEL:932-1961)

# ヘルパーとともに パート11



妹さんとヘルパーと

## 妹さんと人生楽しく!

岡田信茂さん (76歳)

今回は、重度の障害を持ちながら、いつも明るく穏やかに生活されている岡田さん御兄妹を紹介します。

### 信茂さんはどんな人

旅行や外出が大好きです。「今まで授産施設(乙訓の里)から行った旅行や、社協の障害者日帰り旅行や、ヘルパーとの外出が楽しかった」と話されます。

又、隠れた特技が二つあります。一つはハーモニカ演奏



「北国の春」を伴奏つきで演奏

奏。「北国の春」を聞かせていただきましたが、大変上手です。知っている曲なら楽譜がなくても演奏できるそうです。子供の頃は声が美しく、音程がしっかりとっていて、歌も上手だったそうです。

もう一つは編み物。最近、ショートステイ時に編まれたマフラー(写真のマフラー)は編目、形とも美しく仕上がっています。編み物の基本は、子供の頃にお母さんから教えてもらわれたそうです。房は、ヘルパーに教えてもらったと言われます。

こんな信茂さんですが、寂しがり屋で一人が嫌いです。初めての人には気を遣われ、

胃が痛くなる時があります。

### 信茂さんと妹さん

信茂さん5歳、妹さん3歳の時にお父さんが亡くされました。

妹さんはお母さんを助け、お母さんが亡く

られてからもずっと心を込めて信茂さんのお世話をして来られました。

### 今までのサービス利用

お母さんが亡くなられてすぐ「乙訓の里」に通所され、月に1、2回ガイドヘルパーさんと外出されていました。デイサービスは現在、週3回利用されています。ショートステイは1年前から利用され、現在は月2回定期的に利用されています。

### 信茂さんとヘルパー

4年前からヘルパーを利用されています。現在は週2回の外出介助(通院、散髪、買物など)と週3回のモー

ニングケアとデイ送り出しの援助です。

ヘルパーとの買物時に、好きな「十津川警部」シリーズの本を買われます。髪の毛が少しでも伸びると行きつけの散髪屋さんに行かれますが、帰りはセットが乱れるので帽子をかぶらずに帰られます。帽子も数種類お持ちで、おしゃべりです。又、人を笑わせるのが好きで、この間も、ヘルパーがモーニングケアを終えて「男前になりましたよ」と言つと、笑いながら「元々や」と言われます。時々言われる冗談で、その場が暖かい笑いに包まれます。今まで大変なご苦労をされてきたのに、一度も、お二人とも、人の悪口や愚痴を言われたことがなく、ヘルパーはいつも感心しています。



自分の編んだマフラーで

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめご本人、ご家族様より承諾を得て、掲載させていただいております。]

# 『ホームヘルパー 川柳』

この川柳はヘルパーが利用者さんの顔を思い浮かべながらよんだものです。

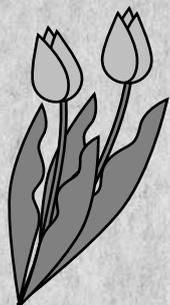
顔拭いて 着物着替えて おちよぼ口

さあ出来た あったかご飯で 嬉しそう

やさしさを いつも心で 介護する

何気ない 心のささこえ おこたらず

ヘルパーを してみても分かる 人生観



登録ヘルパーさん  
を募集しています

## <資格>

- ①ホームヘルパー2級以上 ②概ね50歳位まで  
③向日市在住(近郊可) ④バイク又は自転車に乗れる方

## <お問い合わせ>

お気軽にお電話下さい。

向日市社協ホームヘルプセンター TEL: 932-1968

## 地区社協活動のご紹介(パート4)

### 地域住民同士の

### 融和を目指して

鶏冠井地区社会福祉協議会の主催で、地域のみなさんを対象とした福祉講座が開催されました。今回は、足元に眠る歴史を地域のみなさんに実感していただくために、「わたしたちの鶏冠井―足もとに残る歴史から―」と題して、郷土の地名の由来をテーマにした講演会がおこなわれました。聴講された方々は、自分たちの住む地域の興味深い話に興味を持って傾けられました。

福祉と聞くと「私たちには関係ない」「福祉はどうも難しくわからない」と思いがちですが、鶏冠井地区社会福祉協議会では、地

域の福祉は地域住民同士の融和と親睦から生まれるものとして、こうした身近でみなさんが知りたい情報が中心に取り組みをおこない、地域のみなさんに福祉活動への理解と参加を働きかけていきました。今後ともこうした取り組みを通じて、お互いが協力することで、誰もが長生きしてよかったと思え、誰もがゆとりをもって人生を楽しむことができる地域づくりを目指して取り組みを進めていきたいと思います。



〈お問い合わせ先〉  
向日市社協 地域福祉係

(TEL: 932-1968)

鶏冠井地区社協編

# もっと広がれ! ボランティアの輪

## ボランティアフェスティバル2005開催



点字体験  
「自分のなまえを  
打ってみよう」



セラピードッグとの交流  
「やはり人気の  
ロングコートチワワの  
シンバとジョッシー」



リフォームグループ  
ひまわりによる  
「ビーズのストラップづくり」

11月19日(土)、20日(日)で、向日市社協ボランティア連絡会主催による「ボランティアフェスティバル2005」が向日市まつりの会場で盛大に開催されました。2回目となる今年は、天候にも恵まれ、昨年にも増して盛況となり300名以上の入場者を数えました。参加したボランティアは、日頃の活動の成果を発表したり、作品製作などをおこなってイベントを盛り上げていました。

また、日頃のボランティアグループの活動の様子を紹介したパネル展示も同時におこなわれ、関心のある市民の方々が熱心に見入っておられる姿も印象的でした。



大正琴の生演奏と  
手話歌「ふるさと」



絵手紙体験  
「コツをつかめば簡単かも」

### ◎イベントスケジュール

#### 11月19日(土)

- 11時～ \* 点字体験
- \* 車椅子体験
- 13時～ \* 大正琴の伴奏で手話で歌を歌い  
ましよう
- 14時～ \* 絵手紙体験
- \* ドッグセラピー

#### 11月20日(日)

- 11時～ \* 牛乳パックで作るカード入れ
- \* 車椅子体験
- \* 要約筆記体験
- 13時～ \* ビーズのストラップづくり

### POINT① 自主性・自発性

ボランティアは誰かに強制されたり義務としてではなく、自らすすんでおこなう行動です。じぶんが「こうしたい」と思う自由な意思が、ボランティアの原点です。

### POINT② 社会性・公共性

誰もがいきいきと豊かに暮らしていけるよう、お互いに支えあい学びあう活動です。また、一人ひとりを尊重しながら、生活や社会を一緒に考え創る活動です。

### POINT③ 無償性(非営利性)・無給性

「お金」や「モノ」「名誉」などを求めておこなう活動ではありません。お金では得られない出会いや充実感が得られるでしょう。その充実感が次への力になります。

### POINT④ 先駆性・開拓性

法律や制度の不備などから生まれる、社会的な不公平や福祉問題を自分対置で考え、解決のための実践していく姿勢をいいます。また現状では社会的な支援のない生活上の問題に対応したり、社会に発信していく役割もあります。

# あなたも、はじめてみませんか。

## ボランティア活動センターへお越しください！

ボランティア活動は特別な活動ではありません。みなさんの趣味や特技を活かして活動ができます。また、「何もできないけど」という方でも、あなたらしさを活かした活動があるはずです。

現在、向日市ボランティア活動センターでは、ボランティア活動にご参加いただける方を募集しています。

専門の職員が相談にのりますので、まずはご連絡をお願いします。

## ～ボランティアグループ紹介～

◎ボランティア活動センターに登録されているボランティアグループの一覧です。

種別	グループ名(設立年月日)	活動内容
朗読	ともしび(灯) (昭和47年4月設立)	視覚障害の方をはじめとする情報弱者へのカセットテープや対面での朗読活動および朗読指導。
点訳	きつつき (昭和57年4月設立)	視覚障害の方への点字による情報提供および交流。一般市民等の福祉教育への協力。
	おたまじゃくし (平成8年2月設立)	視覚障害の方にパソコン等を利用してながら楽譜を点訳。
手話	あすなる (昭和57年4月設立)	聴覚障害の方と健聴者が手話を通じて交流を深める。月1回デイケアセンターで手話歌の発表等をしている。
要約筆記	フレンド (平成6年12月設立)	難聴・中途失聴の方への情報保障および要約筆記技術向上に励んでいる。
介助	あゆみ会 (平成元年10月設立)	在宅高齢、障害の方の外出介助、お話し相手等を中心に活動。施設での喫茶室運営にも協力している。
	サークル・プラスワン (平成7年6月設立)	昼間独居の高齢の方等の散歩介助、話し相手、通院介助およびデイサービスで整髪、話し相手等。施設での喫茶室運営にも協力している。
	めだか (平成17年5月設立)	虚弱な高齢者や身体に障害のある方に、水中運動(水中歩行、水泳)の指導および介助をおこなっている。

種別	グループ名(設立年月日)	活動内容
リフォーム	ひまわり (昭和54年4月設立)	障害、高齢の方の衣服等のお直しを行っている。
	絵手紙ひまわりの会 (平成5年12月設立)	向日市内のデイサービスセンターなどで、利用者の方に絵を描く喜びを知っていただくお手伝いを行っている。
	コスモス (平成9年1月設立)	福祉施設や在宅要介護の高齢の方に、大正琴を使った歌や演奏の楽しいひとときを提供している。
交流	来夢来人 (平成10年5月設立)	依頼に応じて福祉施設、学校、病院等を訪問し、音楽療法を取り入れて、楽しい交流を図っている。月2回、音楽喫茶を開催している。
	京都セラピードッグクラブ (平成11年11月)	福祉施設利用者の方等に、セラピードッグとのふれあいを通じて、生きる喜びを感じるひとときを提供している。
サロン	サロン・かぐやひめ (平成13年4月設立)	老後をいきいき暮らすために、地域を拠点として、高齢の方とボランティアとが協働で運営する楽しい仲間づくりを進めている。

### ●お知らせ

ボランティアを紹介してもらいたい個人の方、施設・団体はボランティアセンターへご相談ください。

※ただし、ご本人やご家族のご理解をいただいている場合に限り、また、調整がつかない場合や、ご依頼の内容によっては、お断りする場合があります。

# デイサービス利用者 90歳代のお二人に密着取材

## 「デイサービス」ってどんなところ？



デイサービスの1日とは…(大まかな流れ)

- お迎え
- ▼
- 看護師による体温・脈拍・血圧測定
- ▼
- 朝の健康体操や頭の体操など
- ▼
- 入浴(3種類あり)
- ▼
- 昼食
- ▼
- レクリエーション
- ▼
- おやつ
- ▼
- お送り

今回は向日市デイサービスセンター利用者の中で94歳と91歳の大変お元気なお二人にスポットを当て、元気の秘訣などをインタビューさせていただきました。読者の皆様には、お二人のインタビューを通してデイサービスとはどんな所かを知っていただきたいと思います。



**西村ヤスヨ**さん

明治45年2月9日生まれ 94歳  
出身地●長崎県  
趣味●ハーモニカ・歌・踊り



**河瀬歌能**さん

大正3年6月10日生まれ 91歳  
出身地●愛媛県  
趣味●お茶・お花  
(昔先生をされていた)



デイサービスでもいつもお元気なお二人ですが、長寿の秘訣を教えてください。

西村さん ● 何事にもんびりと神経質にならず、くよくよせずマイペースで取り組むことです。

河瀬さん ● 規則正しい生活をする。デイサービスなどの外出の予定がないときも家で寝巻きのままでいることは今まで一度もありません。

デイサービスでの楽しみは何ですか？

西村さん ● 一番はやっぱり大きくてキレイな浴槽に浸かれるお風呂です。家ではあんな大きな浴槽には浸かれませんか。次に、毎回の楽しいゲーム・歌などを通じてたくさんの人と触れ合えることです。日頃少なくなった異性との会話も楽しみの一つです。とにかく、デイサービスに来ると一日がアツという間に過ぎてしまいます。

河瀬さん ● 一番はたくさん利用者の皆さんとの楽しい会話などを通してのんびりと過ごせることです。団体生活の場ですが縛られずゆつくりできます。あとは、毎回のゲームが楽しいです。家ではできない楽しいゲームを考えてくれているので喜んでいきます。

お二人にとってデイサービスとはどんな所ですか？

西村さん ● 社交の場であり、憩いの場。

河瀬さん ● みんなで遊べる楽しい場。



最後に、この福祉パレットの読者の皆様に一言あればお願いします。

西村さん・河瀬さん ● デイサービスに来ると若返りますよ!! (笑)

《西村さん、河瀬さんご協力本当にありがとうございます。ございました。》

お二人のように楽しく元気にデイサービスでのひとときを過ごしたい方、

デイサービスに関するお問い合わせ先

向日市デイサービスセンター

(TEL) : 9331-3294

お待ちしております!!

## ◎耳より情報

毎月1・2回、向日市デイサービスセンターにてボランティアグループ「絵手紙ひまわりの会」のご協力によりご利用者の皆さんが作成している絵手紙が3月5日・6日に長岡京市神足二丁目パンピオー番館で作品展「絵手紙ひまわり展 四季を描く」に展示されました。

作品展にご利用者の皆さんと見学に行ったところ、すばらしい作品展で大変良かったと好評でした。「絵手紙ひまわりの会」の皆さん、いつもありがとうございます。



ご利用者の力作の一部

# 今一度、契約書・居宅サービス計画を見ませんか

納得した形で署名・捺印しましょう

皆さん、こんにちは。私は、社協でケアマネジャーをやっております。

最近新しい介護サービスを増やした際に、介護者の方より

「また契約書を書かないといけないの。契約書ばかり溜まってしまおう。」と不満の声を聞きました。

介護保険が始まってから、色々なサービスを新しく受ける際に、必ず契約書を結ぶようになっております。もちろん、私たちケアマネジャーも、各利用者様と契約を結ばせていただいております。

私たちの事業所は、契約の際には、契約書と重要事項説明書の2通を利用しております。

その中には、営業時間が、月曜から土曜日の午前8時30分～午後5時、休みが祝日及び1月2日～1月3日であるなど、申し込みからサービス提供までの流れなど色々な事が記載しております。

そして内容をきちんと説明し納得されてから契約をさせていただくように心がけております。

その重要事項説明書には、当居宅介護支援事業所の運営の方針として

① 当事業所は利用者様の心身の状況や置かれている環境に対して可能な限り在宅において自立した日常生活を営む事の出来る様、生活全般に渡り適切に支援する居宅サービス計画作成を目指します。

② 利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ったサービスの提供を行います。

③ 事業の実施に当たっては向日市及び長岡京市、大山崎町地域の保健、医療、福祉サービスとの綿密な連携を図り、統合的なサービスの提供が確保されるよう指定居宅サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整を行うと記載されております。

私たちケアマネジャーは、毎月の訪問の際には、利用者様のご様子を伺い、そのご希望を聞きながら、又利用されている各事業所からの報告等を参考にしながら、より良い居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、ご提案していき



たいと思っております。

この4月に、介護保険制度は大きな変更が行われます。利用者の皆さんがより良い自立した日常生活が出来るよう、一緒にご相談していきたいと思っております。

しかし、最終的にサービスを利用され、決定されるのは、各利用者様です。

分からないことは、どんどん聞いていただき、納得した形で、居宅サービス計画（ケアプラン）に署名や印鑑を押していただけるよう居宅事業所職員一同努力していきたくと考えております。

注）居宅サービス計画 ケアプランとも言う。どんなサービスをどれくらい使えばいいのかを計画書にしたもの。

# 平成17年度社協会員会費報告

平成18年2月14日現在

皆様からいただきました会費は、来年度の事業運営に有効に活用させていただきます。

地 区	一般会費 一口500円	特別会費 一口3,000円	名誉会員 一口10,000円	賛助会員 一口5,000円	合 計
物 集 女	950,800	6,000			956,800
寺 戸	1,774,810	90,000	10,000		1,874,810
森 本	407,000	33,000			440,000
鶏 冠 井	550,600	33,000			583,600
上 植 野	604,000	51,000			655,000
向 日	140,500	15,000			155,500
西 向 日	192,000	15,000	10,000		217,000
向 日 台	149,700	15,000			164,700
市 内 全 域				960,000	960,000
合 計	4,769,410	258,000	20,000	960,000	6,007,410

## あたたかい善意とご協力をありがとうございました

平成17年度赤い羽根共同募金&歳末たすけあい運動結果報告

### ■募金結果

地区・種別	赤い羽根	歳末たすけあい
物 集 女	615,560円	631,352円
寺 戸	1,340,931円	1,434,117円
森 本	361,998円	361,495円
鶏 冠 井	418,400円	475,703円
上 植 野	439,000円	442,866円
向 日	111,200円	132,835円
西 向 日	150,100円	186,800円
向 日 台	108,330円	101,895円
大口募金	178,482円	0円
街頭募金	0円	20,000円
職域募金	24,533円	1,306円
利 息	0円	3円
合 計	3,748,534円	3,788,372円



### 善意のご寄付ありがとうございました。

(平成17年10月1日～平成18年2月2日)

山城乙訓グラウンドゴルフ協会 代表 井上 孝男 様	4,000円
吉井 孝一 様	35,000円
東向日キリスト教会 様	10,000円
森本区 様	1,000円
畠中 稔 様・真優 様	5,071円
医療法人回生会 理事長 出射 靖夫 様	50,000円
向日市グラウンドゴルフ協会 様	10,000円
京都新聞洛西販売店連合 様	30,000円
北村 礎 様	100,000円

### ■配分金使途

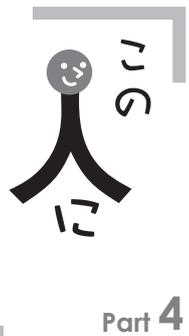
寄せられた善意は、このような事業に使わせていただいております。

#### ○赤い羽根共同募金

- 障害者福祉事業（きこえと補聴器の教室の開催等）
- 母子・父子福祉事業（小・中学校卒業記念交流事業等）
- 児童青少年福祉事業（子育て支援事業等）
- 福祉育成事業（福祉パレットの発行、ホームページの管理運営、サマーボランティア体験）

#### ○歳末たすけあい運動

配 分 先	配 分 金 額	
ふ と ん 洗 濯 ・ 乾 燥 事 業	793,920円	
防 犯 ・ 防 火 機 器 設 置 事 業	535,815円	
団 体 助 成 事 業	乙 訓 手 を つ な ぐ 親 の 会	25,000円
	乙 訓 障 害 児 父 母 の 会	15,000円
	働 く 仲 間 の 集 い 実 行 委 員 会	100,000円
	向 日 市 ろ う あ 協 会	40,000円
	向 日 市 難 聴 者 協 会	20,000円
	京 都 府 視 覚 障 害 者 協 会 向 日 市 支 部	20,000円
	乙 訓 心 臓 病 の 子 ど も を 守 る 会	15,000円
	向 日 市 原 爆 被 災 者 の 会	30,000円
	向 日 市 障 害 児 学 童 を 育 て る 会 が ん ば ク ラ ブ	30,000円
	地 区 社 協 育 成 費	400,000円
向 日 市 介 護 者 の 会	20,000円	
法 外 援 護 資 金	50,000円	
お 節 料 理 配 食 補 助	1,160,671円	
ボ ラ ン テ ィ ア 支 援 事 業	28,056円	
市 民 ボ ラ ン テ ィ ア ス ク ー ル	212,250円	
要 約 筆 記 ボ ラ ン テ ィ ア 養 成 講 座 [基 礎 課 程]	195,131円	
事 務 費	97,529円	
合 計	3,788,372円	



聞く

Part 4

向日市身体障害者協会  
会長 杉本芳衛さん



向日市社協では、福祉パレット第104号から、向日市内で社会福祉に携わって活躍していただける方にインタビューを行い、その方の社会福祉活動の内容等をご紹介する「この人に聞く」コーナーを開設しました。  
今回は、向日市身体障害者協会会長の杉本芳衛氏に身体障害者協会（略称：身障協）の活動等についてお話を伺いました。

### ▼プロフィール

杉本氏が身障協に入会されたのは昭和60年のことで、退職を機に入会されたそうです。入会1年後から役員として活躍後、平成12年から会長に就任され、現在3期6年目を迎えておられます。

### ▼向日市身体障害者協会の活動

身障協は、今年で発足50周年の節目の年を迎えられました。

10年前には会員数が200名近くにまで達したことがあったそうですが、現在は150名前後で推移しており、新規会員の入会が減少している傾向にあるそうです。

役員の高齢化が併せて懸念される中、身障協として1ヶ月に1〜2回程度は、役員を中心に様々な行事に積極的に参加されるとともに、「向日市障害者の日実行委員会」の各種事業にも多数の会員が参加しておられます。また、「生活行動訓練」の実施を中心とした身障協独自の行事を開催され、それぞれの活動を通して、新規会員の獲得を意識されながら、身障協の周知を図っておられます。

特に、最近では、身障協の活動の一環として、会員の趣味や特技を活かしたクラブ活動にも力を入れて取り組んでおられ、3〜4年前に発足した「卓球バレークラブ」では、1ヶ月に数回の練習を重ねられ、試合にも参加しておられます。杉本氏は今後も新しい活動を発足させることを視野に入れておられ、「クラブ活動を通して、身障協の発展と障害者の自立を促していきたい。会員の高齢化が自立を妨げることのないように、会員相互で助け合っていきたい。」と話されました。

と質問したところ、「地域には障害者も暮らし、子どもや一人暮らしの高齢者も暮らしている。ふれあいと思いやりのまちづくりを実現させるためには、お互いに助け合う気持ちやボランティア精神が必要だし、地域住民一人ひとりがそういう気持ちを抱けるような仕組みづくりも必要だと思う。誰もがいつかは年を取るし、障害者になることもあり得るので、いつかは自分も誰かの手助けが必要な立場になることを忘れてはならないと思う。人と人をつなぐのは地域しかないので、お互いに助け合う気持ちを育み合えるような地域になれば」と願っている。」と熱心に語って下さいました。

### ▼ふれあいと思いやりのまちづくり

向日市社協では、平成13年度に策定した『地域福祉活動計画』において、「ふれあい

と思いやりのまちづくり」をスローガンとして定め、日々地域福祉を推進しています。

杉本氏に「ふれあいと思いやりのまちづくりを実現させるために必要なことは？」

向日市社協では、今後も「この人に聞く」コーナーにおいて、「ふれあいと思いやりのまちづくり」の実現に向けて、メッセージを発信していく予定です。

問い合わせ先

向日市社協 地域福祉係

(TEL: 932-1960)

## 向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様方から寄せられた善意である赤い羽根共同募金の配分金の一部を財源として、年に3回（7月・11月・3月）発行しています。

向日市社協では、今後も市民の皆様方に関心と親しみを持って読んでいただけるように、紙面の充実に努めていきたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。



お問い合わせ先 向日市社協総務係 (TEL: 932-1960)